

2022年5月

朝鮮半島の地経学

〈内容の概要〉

本報告書は日本経済研究センターが2021年度の「アジア研究」の一環として取り組んだ成果をまとめたものだ。

研究テーマは「朝鮮半島の地経学」。地政学上のホットスポットであるこの地域におけるサプライチェーンやインフラ整備、技術開発などをめぐる関係国の競争を多角的に分析・検討した。韓国国際交流財団の助成を受けた。全体で10章からなり、以下のような構成になっている。

〈各章の構成〉

- 第1章 朝鮮半島めぐる新たな経済ゲーム
——米韓同盟強化で中国に対抗する米国
- 第2章 中国の韓国取り込み戦略の変容
——「特化型」に移行する貿易構造
- 第3章 米中バランスに苦慮する韓国財閥
——「安米経中」から「安米経米」へ
- 第4章 「脱日本依存」、部材国産化進める韓国
——日本の輸出管理強化の中間決算
- 第5章 新しい構想が必要とされる南北経済関係
——韓国文政権の挫折と尹政権の対北政策
- 第6章 ユーラシア鉄道連結性向上と朝鮮半島
——着実に布石を打つ韓国
- 第7章 中国東北部と朝鮮半島の経済連携
——「一帯一路」延伸と北東アジア協力
- 第8章 金正恩時代の軍需産業と軍隊
——兵器開発と災害への対応
- 第9章 「政温経冷」の中国と北朝鮮
——「同盟」延長で経済支援再開も焦点に
- 第10章 朝鮮半島の非核化と日本の貢献
——平和発展の「夢と希望」をどう与えるか